

2010年8月18日

情報システム学会 新規研究会 設置申請書

1. 研究会名

サービス・サイエンス研究会

2. 研究テーマ

サービス・サイエンスを学問としてとらえ、IT サービスという観点での適用方法について議論し、最終的に IT サービス・ビジネス、大学や社会人向けの教育に応用していくことを目指す。

3. 主査氏名、所属、連絡先

氏名：溝上 敏文

所属：日本アイ・ビー・エム株式会社 CC事業、インダストリー・クラウド推進

連絡先：MIZOKAMI jp.ibm.com (■は@に置き換えてください)

正式な主査は、後日、学術団体よりアサイン予定

4. 幹事氏名、所属、連絡先

氏名：江口 昌幸

所属：日本アイ・ビー・エム株式会社 CSR推進・政策渉外・お客様プログラム

連絡先：EGUCHI jp.ibm.com (■は@に置き換えてください)

5. 研究テーマ設置の趣旨

先進諸国において GDP におけるサービスの割合が高くなるのは日本も例外ではなく、今後の国家としての経済成長にはサービス産業の成長が欠かせない。IT 産業においてもサービス・ビジネスの比重が近年高まり、IT システムの物理インフラやアプリケーション機能がサービスとして提供されるクラウドコンピューティングが大きな潮流となっている。サービス・ビジネスの効率化の重要性に着目し、急速に発展しつつあるサービス・サイエンスの考え方を大学教育に積極的に取り入れている国もある反面、日本では数年前の機運の高まりを見て以来、最近では積極的なサービス・サイエンス活用の取り組みが産学の両面で見られるとは言い難い。当研究会はサービス・サイエンスの最新の状況を認識し、日本での普及が何故難しいかを議論し、諸外国での活用事例を比較・研究し、再び IT サービス・ビジネスへの有効活用の道を探り、具体的かつ現実的な活用手法へと展開していくことを目的とする。

6. 主たる活動場所

東京（日本 IBM 箱崎本社）

神奈川（日本 IBM 大和研究所）

7. 活動計画（概要）

IT サービスがどのように企業・団体のビジネスに貢献するかをサービス・サイエンスという学問的見地から具現化、実証する仕組みを検証する。以下のステップで実証していく。

1. サービス・サイエンスの過去の日本での取り組み、現状の認識。
2. IT サービスのサービス・サイエンスへの展開方法の考察（海外の事例研究）
3. ビジネスへの貢献度の評価軸の見極め
4. 教育界への意識付けの向上

8. メンバ構成（氏名、所属、連絡先住所、Tel、Email）

主査

氏名：溝上 敏文

所属：日本アイ・ビー・エム株式会社 CC事業、インダストリー・クラウド推進

連絡先住所：東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

Tel：(非公開)

Email：MIZOKAMI jp.ibm.com （ は @ に置き換えてください）

幹事

氏名：江口 昌幸

所属：日本アイ・ビー・エム株式会社 CSR推進・政策渉外・お客様プログラム

連絡先住所：東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

Tel：(非公開)

Email：EGUCHI jp.ibm.com （■ は @ に置き換えてください）

会員：

非会員： 澤谷 由里子 科学技術振興機構（予定）

非会員： 上村 龍文 日本アイ・ビー・エム株式会社（予定）

計 10 名（予定） （会員 名 : 非会員 名）

以上